



USBとライン2種類の入力に対応する ADLの新。ポータブルヘッドフォンアンプ

クリアな音場感を基調とし
艶と華のあるサウンド傾向

フルテックが展開するADLブランドから96kHz/24bit対応USB DAC内蔵ポータブルヘッドフォンアンプCruiseが登場した。リチウムイオン充電電池を内蔵したボディはアルミ合金製で、カーボンファイバーのカバーと非磁性ステンレス鏡面仕上げのサイドパネルから構成され、フォロイミューラカーのウイニングを思わせる、流線形の独創的なフォルムを持っている。電源供給はUSBが付属ACアダプターからとなり、充電しながら使用することも可能だ(古い電源LEDは電池残量が少なくなると赤く光って警告)。USB入力のほかにはステレオミニプラグによるアナログ入力も装備しており、外出先でポータブルプレーヤーのライン入力を繋いで楽しむことができる。ポリリウムコントロールには高音質なロータリー型可変抵抗器を採用、対応インピーダンスは12〜600Ωとな

っており、大抵のヘッドホンには駆動できる設計だ。
なお、今回は同じく新製品である独自の銀メッキオーディオCC導体を用いたステレオミニケーブルiD-35SPも一緒に試聴した。
iD-35SPは外来ノイズを抑える二重シールドを採用し、自社製24K金メッキプラグを一体成型した構造である。
まずiD-35SPを用いてiPod nanoとCruise(ヘッドホンにはシアアールSRH940を使用)をアナログ接続したサウンドであるが、標準的なステレオミニケーブルを使った場合と比較し、キックやベースといった音像が引き締まり、ギターやボーカルの中高域成分に煌びやかな倍音が加わり、艶やかで華やいたサウンド傾向となった。ウッドベースは弾力あるリリースで穏やかなふくらみが耳当たりが良い。基本的にクリアな音場感で、キレ良く鮮やかにアタックを聴かせる。
USB経由でのサウンドはまた違った印象で、低域の厚みが増し、

一層伸びやかでバランス良く感じられるものとなった。96kHz/24bit音源においては涼やかな女性ボーカルのウエットな質感や硬質なタッチのピアノサウンドが一層透明感を強調。ウッドベースはきめ細やかな弦のタッチと、むっちりとした弾力溢れる調鳴りが楽しめる。



Specifications

[CRUISE]●形式: USB&アナログ入力対応ポータブルヘッドフォンアンプ●入力: USB×1, 3.5mmフォンジャック×1●出力: 3.5mmフォンジャック×1●SN比: 100dB●チャンネルセパレーション: 42dB●全高調波歪率: 0.005%●推奨ヘッドフォンインピーダンス: 120〜600Ω●サイズ: 65.5W×28.3H×120Dmm●重量: 210g
[iD-35SP]●形式: 3.5mmステレオミニケーブル●導体: 10/0.12シルバー・プレーテッドα-CCO●シールド: アルミ、40/0.12α処理銅バー●絶縁: PVC●取り扱い: フルテック様

ADLブランドからは、オーディオグレードのUSBケーブルも先行して発売されている。写真はFormula 2 USB Cable(¥4,200/0.6m)。この他にも上位のGT2 40 USB Cable(¥8,400/0.6m)がラインアップ